

明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会 第2回 地域活性化検討専門部会  
議事要旨

1 開催日時：平成30年3月6日（水）15:00～16:30

2 開催場所：明治大学黒川農場 会議室

3 出席者：[座長] 玉置教授

[部会員] 熊澤委員、坂本委員、川端浩之委員、川端孝之委員、市川委員、島野委員、  
川口委員、地引委員、遠藤委員（緒方代理）、田島委員、伊藤委員

[事務局] 麻生区役所まちづくり推進部企画課：安藤企画課長、福島担当係長、大條  
主任

コンサルタント（(株)URリンケージ 牧野、岸本、會田）

#### 4 議事 <主な意見>

##### (1) 平成30年度の取り組みについて

- ① 収穫祭のアンケートでは、はじめての人も多いので、収穫祭のような場で情報発信することが重要。

##### (2) 基本計画の見直しについて

- ① スケジュールの変更によって、参加する側も事務局側も負担を軽減できる。
- ② 現段階では、取り組みがスムーズに進んでいる。意見はきちんと把握し、課題については見直ししながら進めたい。
- ③ 基本計画の改定については、提示された内容で進める。

##### (3) 実施計画の見直しについて、平成31年度の具体的取り組み（案）について

###### 1) 地1：里地里山の風景PR

- ① 海道緑地の新しい道をPRしたい。
- ② グリーンツーリズムや笹刈り体験などのイベント時に、里地里山の風景が魅力的なルートを設定できるとよい。
- ③ SNSで黒川の風景を紹介する。

###### 2) 地2：協議会の取り組みやイベントのPR

- ① パネル展示については、新百合ヶ丘駅周辺など新しい場所での展示を検討している。農産物部会や里地里山部会と連携してPRをしていきたい。
- ② 自分のまちを知らない人の増加が課題だが、地域活性化の取り組みにより、理解度は向上しているし、地元農家によってセレサモスも活性化している。

###### 3) 地3：グリーンツーリズムの実施

- ① グリーンツーリズムの取り組みは好評だが、セレサモス等のPRが必要。
- ② グリーンツーリズムと里地里山のイベントを組み合わせるとよい。

#### 4) 地4：地元主催アートイベントへの協力

- ① 収穫祭開催時に、和光大学の展示がないのは寂しいので、地元と連携し、他の展示を検討する。
- ② 緑と道の美術展は、広報支援しながら進める。

#### 5) その他

##### 《農の状況》

- ① 次の世代でも営農活動が継続できるような仕組みを作る必要がある。
- ② 全国的に道の駅等での直売は縮小傾向にあると聞き、今後に懸念がある。

##### 《黒川駅前開発》

- ① 黒川駅前を小田急電鉄が開発しており、コンビニやコワーキングスペースが5月に完成する予定である。入る事業者等とうまく循環できるとよい。

##### 《明大との連携》

- ① 企画の充実のため、明治大学の学生を活用できる。

以上